

八月十八日（月）～八月二十日（水）

箱根仙石原実習所

棚田輝嘉ゼミ

九月九日（火）～九月十一日（木）

軽井沢実習所

横井孝ゼミ

九月二日～九月四日

京都

夏期休業中に卒論ゼミ研究合宿が以上の日程で行われた。
なお、近藤みゆきゼミ・佐藤悟ゼミ・福嶋健伸ゼミ・牧野
和夫ゼミおよび第二回池田三枝子ゼミは学内で研究指導が
行われた。

〈編集後記〉

待ちに待った新助教が着任した。外部から採用した助教
が三代続いた（初代はまだ「助手」の名であった）が、
「二度あることは三度ある」の俗諺通り、三代目も優秀で
諸事万端抜かりなく、まったく安心して編集事務を任せる
ことができた。編集長としては大助かりで、このような幸
せが長く続くことをひたすら祈るばかりである。

（影山輝國）

平成二十年度前期号にあたる第七十四号をお届けします。
今号から、助教として『實踐國文学』編集のお手伝いをさ
せていただくこととなりました。西の果てまでその質の高
さが音に聞こえた本誌の編集に携われるとは、思ってもみ
ませんでした。至らぬ身ではありますが、誠心誠意努めた
と思います。

（植田 麦）